

本日は皆様ご多忙のおり、本校 PTA 会長 平井雅秋様、清水区
区長高木強様はじめ、学園の内外から多くのご来賓の皆様、保護者
の皆様のご臨席を賜り、かくも盛大に中等部第70回卒業証書授与
式を挙行できますこと、高い席からではございますが、心から御礼
申し上げます。

中等部138名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
そして、保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。

成長したくましくなったお子様の姿をご覧になり、さぞ喜びもひ
としおのこととご推察いたします。入学時、まだ幼さが残るわが子
が大きな重い鞆を持ち、スクールバスのバス停に向かう後ろ姿や自
転車で雨の中走り去っていく背中を保護者の皆様は不安な思いで見
送ったのではないのでしょうか。しかし、「自分で選んだ道なのだから
頑張れ」と小さな声で我が子の後ろ姿に励ましの声をかけたと思
うのです。3年の月日はお子様を青年の顔に変え、今は、大人への
階段を徐々に上り始めようとしています。すっかりたくましくなっ
て、今までとは違う表情を見せるわが子に戸惑いを感じ、嬉しいよ
うな悲しいようなそんな気持ちになったこともあるでしょう。けれ
ども、我々もそうであったように、これが自立への第一歩なのです。

さて、2019年学園は最高の幕開けとなりました。第95回箱

根駅伝大会において東海大学は悲願の初優勝を果たしたのです。46度目の挑戦でした。大会新記録で箱根路を走り抜けました。10人の選手が互いを信頼し合い、ひとりも大崩れすることなく次のランナーに襷を渡すことができたことが勝因であったと思います。

駅伝の感動は10人で襷をつなぐというところにあります。個人の力量は問われますが、しかし、仲間の力の集積が結果に繋がる競技です。

私は皆さんにこの3年間言い続けてきた言葉があります。

一生懸命やらなければつまらない

厳しさがなければ成長しない

苦しくなければ感動はえられない

人を変えていくのは「意欲」だという脳科学者の言葉があります。「過去は変えられないが、未来は変えられる」という「意欲」さえ持てば、人は工夫しますし変化を求めます。想像力を働かせることも必要になります。知恵も勇気も必要でしょう。

箱根駅伝で45年間先輩達がなしえなかった優勝を自分たちが成し遂げたい、新たな歴史の一ページを刻みたいと願った彼らは、一生懸命練習し、厳しさを自分に課し、苦しきの向こうにある感動を目指して走ったはずですが、スポーツは結果を争うものですが、単に結果が感動を生むのではなく、その過程のドラマにこそ人々を感動

させるものが潜んでいるのです。

皆さんの日常が、日々の営みが常にドラマチックなわけではありません。しかし、自分が変わり成長していくためには小さくてもいい、そこには何らかのドラマが生まれなくてはなりません。

その小さなドラマが自分を変え、向上させてくれる。だからこそ、そのドラマを生み出すための一生懸命さ、厳しき、苦しきが必要なのだと胸に刻んでほしいのです。

皆さんはこの4月からそれぞれの道を歩みだします。人は未知のものに飛び込むときはいつも期待感の裏に必ずマイナスの感情、恐れや不安を抱きます。しかし、臆することはありません。静岡翔洋で学んだこと経験したことを糧にし、自信に変えて新たな高校生活を切り開いて行って欲しいと思います。

とりわけ、大多数の生徒が進む静岡翔洋高校ですが、静岡県の公立高校のおよそ50%もの学校が定員割れをおこす中、本校はこの4月から定員360名を大きく超える403名の入学者を数え10クラスのスタートとなります。たくさんの公立中学出身の生徒と競っていかねばならない皆さんですが、恐れることはありません。皆さんの先輩は立派に静岡翔洋高校の中心となって活躍しています。

高校の総長賞をこの3年間受賞したのは中等部出身者です。3名

とも医学部へ進学いたしました。勉強面でも翔洋生は高校をリードし、部活動の面でも多くの部活が活躍し、中・高一貫教育の成果が出てきています。私の願いは皆さんが今後も建学の精神を胸に刻み、静岡翔洋高校の中心であってほしいということです。そして他校へ進む生徒にも同様のことを望みます。静岡翔洋高等学校中等部の卒業生であることに誇りを持って活躍をしてください。

最後に、君たちは伝統ある静岡翔洋高等学校中等部第 70 期生です。3年間同じ空間で過ごし、学び、泣き、笑い、汗を流した仲間です。1000 日に及ぶ中学生活の日々は二度と戻っては来ません。しかし、どんなに時が過ぎ去っても、またみんなと会えば、一瞬にして昔の自分たちに戻ることができ、勇気づけられたり、元気が出たりするのです。今はまだ皆さんには実感がないかもしれませんが、10年たっても 20年たっても青春時代の思い出は鮮やかによみがえってくるものです。仲間、友はまさに宝物です。

静岡翔洋からは永遠の姿をとどめる美しい富士が見えます。大切な中学生活、多感な青春時代を送った思い出深い校舎です。どうか、翔洋生らしく雄々しく、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、校長の「告辞」といたします。

卒業おめでとう。